

【NEWS RELEASE】

2022年11月2日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

株式会社三井住友銀行

フィリピン商業銀行 Rizal Commercial Banking Corporation の株式追加取得について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純 以下、「三井住友フィナンシャルグループ」、当社グループを総称して「SMBC グループ」）、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠 以下、「三井住友銀行」）は、フィリピン共和国（以下、「フィリピン」）の商業銀行である Rizal Commercial Banking Corporation（頭取 CEO：Eugene S. Acevedo 以下、「RCBC」）との間で、同社普通株式の 15.01%を、関係当局からの許認可等を前提として追加取得することに合意し、株式取得に係る契約及び業務提携に係る覚書を締結致しました。今回の追加取得により、三井住友銀行の RCBC 普通株式持分は合計 20.00%となり、同行は三井住友フィナンシャルグループおよび三井住友銀行の持分法適用会社となる予定です。

1. 本件追加出資の目的・戦略的意義

SMBC グループは、中長期的な目線でアジアの成長を捕捉する戦略として、マルチフランチャイズ戦略に取り組んでおり、重要国の一つと位置付けるフィリピンにおいては、2021年6月の4.99%出資を機に RCBC との提携を開始しております。

RCBC は日系企業とも数多くの提携実績のある Yuchengco Group の一社であり、現地行でも最大規模で展開するジャパンデスク事業に加え、デジタルバンキング・ESG 等の分野においてフィリピン国内で高い評価を受ける地場主要銀行です。

昨年の出資以降、幅広い事業領域での協働機会の協議を通じ、相互理解を深めてまいりました。その過程において、同行が中長期的に高い成長ポテンシャルを有すること、協働によるシナジー効果が見込めることを確認できたため、この度、資本・業務両面での提携を一層強化することについて合意に至りました。

RCBC への本件追加出資により、同行のフィリピン全土に亘る支店ネットワークや、リテールも含めた幅広い金融サービスの提供を通じ、フィリピンでの事業拡大を目指す当行のお客さまへ、より肌理細かなサポート体制の構築を実現していくとともに、フィリピンの金融業界全体の更なる発展への貢献と、SMBC グループとしての同国における成長戦略の一層の強化を図ってまいります。

2. RCBC の概要

会社名	: Rizal Commercial Banking Corporation
設立年	: 1960 年
所在地	: フィリピン
上場市場	: フィリピン証券取引所
株主	: Pan Malayan Management and Investment Corporation 39.6% (Yuchengco Group 持株会社)
	Cathay Life Insurance Co., Ltd. 22.2%
	International Finance Corporation 5.3%
	三井住友銀行 4.9%

(2022 年 6 月末時点)

(参考) RCBC の直近の業績

(単位: 億円)

	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期	2021 年 12 月期	2022 年 6 月期
業務粗利益	893	944	906	529
当期純利益	134	125	176	153
総資産	19,100	19,225	23,882	24,982
純資産	2,063	2,524	2,766	2,865

(1 フィリピンペソ=2.49 円で換算)

以 上